

平成27年度  
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

## 1 会議に関する事項

### (1) 平成27年度第1回理事会

日 時： 平成27年6月4日（木）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成26年度事業報告及び決算報告について

議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団役員等報酬に関する規程の一部改正について

議案第3号 平成27年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (2) 平成27年度第1回評議員会

日 時： 平成27年6月22日（月）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成26年度決算報告について

議案第2号 理事の選任及び解任について

議案第3号 評議員の選任及び解任について

### (3) 平成27年度第2回理事会

日 時： 平成27年6月22日（月）15時半～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 理事長の選定について

議案第2号 常務理事の選定について

議案第3号 事務局長の選定について

### (4) 平成27年度第3回理事会

日 時： 平成28年3月15日（火）10時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成28年度事業計画及び収支予算について

議案第2号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団組織規程の一部改正について

議案第3号 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団事務決裁規程の一部改正について

議案第4号

議案第5号 平成27年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (5) 平成27年度第2回評議員会

日 時： 平成28年3月22日（火）14時～

会 場： 国立劇場おきなわ会議室

議 事： 議案第1号 平成28年度事業計画及び収支予算について

議案第2号 評議員の選任及び解任について

## 2 沖縄伝統芸能等の公演

### (1) 自主公演の開催【年度計画：30公演45回、達成率100%】

30公演45回（定期公演21回, 企画公演9回, 研究公演1回, 普及公演11回）を実施した。

#### ア 定期公演（17公演 21回）【年度計画：17公演21回】

組踊・琉球舞踊・三線音楽・沖縄芝居・民俗芸能で編成する。伝承されてきた古典の形態を尊重しつつ、必要に応じて上演前に解説を加える等、観客のニーズも勘案し上演している。

公演名	公演数	回数
組踊	7	7
琉球舞踊	6	7
三線音楽（民謡・古典音楽）	1	1
沖縄芝居	2	5
民俗芸能	1	1

#### イ 企画公演（7公演 9回）【年度計画：7公演9回】

さまざまなジャンルの比較公演をはじめ、本土の芸能、アジア・太平洋地域を中心とする海外の伝統芸能や、新作組踊や沖縄芝居で構成する。沖縄伝統芸能の新たな可能性を求め、さらなる発展につながる公演の制作に努めている。

公演名	公演数	回数
組踊（新作組踊等）	1	1
沖縄芝居	1	2
アジア・太平洋地域の芸能	1	1
本土の芸能（寄席、狂言）	2	3
太鼓	1	1
その他	1	1

#### ウ 研究公演（1公演 1回）【年度計画：1公演1回】

組踊はじめ沖縄伝統芸能の活性化を目的に、現在、上演の途絶えている組踊や琉球狂言、御冠船踊などの中から復曲を試みる公演や、学問的な視点から研究に寄与する公演を制作している。

公演名	公演数	回数
民俗芸能	1	1

#### エ 普及公演（5公演 14回）【年度計画：5公演 14回】

組踊、琉球舞踊、沖縄芝居の三つのジャンルにおいて、古典に触れる、親しむことを目的に、児童・生徒や社会人等に解説等を交え上演し、新たな観客層の開拓に努める公演を制作している。

公演名	公演数	回数
組踊鑑賞教室	3	10
琉球舞踊鑑賞教室	1	1
沖縄芝居鑑賞教室	1	3

日程・演目・出演者

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
1	普及公演	4月11日	昼	琉球舞踊 はじめての琉球舞踊～やぎ・うし・とりと琉球舞踊～ 「四季口説」「かせかけ」 「八重瀬の万歳」「谷茶前」「くゆい」他	阿嘉修、呉屋かなめ、高宮城実人、玉城匠、花城英樹、宇座仁一、佐辺良和、新垣麻理子、山城垂矢乃、小嶺和佳子、松田香織他
2	定期公演	4月25日	昼	組踊 組踊「二童敵討」 第一部 琉球舞踊「波平大主道行口説」「加那よ一天川」「柳」他 第二部 組踊「二童敵討」	嘉手苺林一、玉城盛義、東江裕吉、照屋倫子他 宇座仁一、親泊久玄、田口博章、西門悠雅他
3	定期公演	5月16日	昼	琉球舞踊 雑踊名作選 第一部 「ナークニー汀間当」「谷茶前」「取納奉行」他 第二部 「加那よ一天川」「浜千鳥」「鳩間節」「金細工」他	宮城能鳳、大湾三瑠、比嘉一恵、比嘉美好他 玉城静江、新崎恵子、富里敬子、伊舎堂千恵子、志田房子、志田真木、佐辺良和他
4	定期公演	5月23日	昼	組踊 組踊「手水の縁」 第一部 琉球舞踊「本貫花」「本花風」他 第二部 組踊「手水の縁」	高嶺美和子、真境名迪子他 島袋光尋、玉城匠、金城真次、阿嘉修、呉屋智他
5	企画公演	5月31日	昼	太鼓 太鼓の競演～打の融合～ 「恵比須舞」「鼓笛絃遊」「neo-ryukyu」「シンカヌチャー」「御知行」「海風人」他	今福座、徳八流太鼓保存会、仲宗根達也～neo-ryukyu～、鼓衆若太陽、創作芸団レキオス
6	普及公演	6月13日	昼	組踊 社会人のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」	岸本隼人 嘉手苺林一、西門悠雅、田口博章、石川直也、新垣悟、阿嘉修他
7	企画公演	6月20日 21日	昼 昼	沖縄芝居 沖縄芝居「いのちの簀」	大湾三瑠、座喜味米子、高宮城実人、伊良波さゆき、小嶺和佳子、仲里綾香、当銘由晃、天願雄一、玉城匠、上原崇弘他
8	研究公演	6月28日	昼	民俗芸能 与論十五夜踊りと沖縄芝居 第一部 与論十五夜踊り「雨賜り」「三者囃子」他 第二部 沖縄芸能 沖縄芝居「仲順大主～三本小松～」	解説：麓才良 与論十五夜踊り保存会 対談：新垣亘、麓才良 平良進、嘉陽田朝裕、儀間佳和子、金城真次他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
9	定期公演	7月11日	昼	琉球舞踊 「男性舞踊家の会」 第一部 「作田」「浜千鳥」「谷茶前」「花風」他 第二部 「むんじゅる」「加那よ一天川」「南洋浜千鳥」「鳩間節」「辻花」他	宮城茂雄、親泊久玄、川満香多、田口博章、海勢頭あける他 阿嘉修、大湾三瑠、東江裕吉、真境名律弘、石川直也、大浜暢明他
10	定期公演	7月18日	昼	組踊 組踊「孝行の巻」 第一部 琉球舞踊「高平良万歳」「日傘踊り」「瓦屋」他 第二部 組踊「孝行の巻」	西島ゆかり、上原智子、新城園美、赤嶺光子 神谷武史、新垣悟、宮城茂雄、海勢頭あける、金城清一他
11	普及公演	8月2日	昼	組踊 親子のための組踊鑑賞教室「女物狂」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「女物狂」	玉城匠 川満香多、大湾三瑠、平田智之、宮城昭博、呉屋智、宇良佳祐他
12	定期公演	8月15日 16日	昼 昼	沖縄芝居 怪談劇「十貫瀬の七つ墓」	瀬名波孝子、東江裕吉、伊良波さゆき、当銘由亮、嘉陽田朝裕、天願雄一、高宮城実人、赤嶺啓子、宇座仁一、仲嶺眞永他
13	定期公演	9月12日	昼	琉球舞踊 「琉球舞踊特選会」 第一部 「作田」「瓦屋」「前の浜」「稲まづん」「伊野波節」「波平大主道行口説」 第二部 「女こてい節」「天川」「柳」「本貫花」「諸屯」	志田房子、谷田嘉子、親泊興照、金城美枝子、又吉静枝、島袋光晴、 宮城幸子、喜納幸子、玉城節子、佐藤太圭子、玉城秀子他
14	普及公演	9月17日 18日 19日	昼 昼 昼	沖縄芝居 沖縄芝居鑑賞教室 第一部 喜劇「Wife～トビーラーの妻たち～」 第二部 時代舞踊劇「割符」	阿嘉修、知念勝三、松田香織 真栄田文子、古謝渚、呉屋かなめ、安次嶺正美、田口博章、新垣正弘、高宮城実人、祖慶しのぶ他
15	定期公演	10月3日	昼	三線 三線音楽～至高の響～ 第一部 古典音楽・独唱 第二部 三線と舞 第三部 民謡	照喜名朝一、知名定男、徳原清文、大工哲弘、西江喜春 伊波貞子、大城美佐子他

期 日 等					公演名・演目	出演者
16	企画公演	10月17日	昼	その他	<b>ゆらていく遊ば</b> 第一部 喜劇「無念大蛇其ノ後ノ嘶〜続・孝行の巻〜」 第二部 古典音楽斉唱 舞踊、喜歌劇「仲直り三良小」	平良進、高宮城実人、玉城匠、花岡尚子、宇座仁一、阿嘉修、花城英樹、川満香多、仲村逸夫、玉城和樹、仲尾勝成、池間北斗、入嵩西諭、森田夏子、久志大樹 瀬名波孝子、仲嶺眞永、金城真次、玉城千枝、石川直也、翁長俊輔、知花小百合、佐辺良和、天願雄一、小嶺和佳子
17	定期公演	10月24日	昼	組踊	<b>組踊「久志の若按司」</b> 第一部 琉球舞踊「稲まづん」「ぜい」他  第二部 組踊「久志の若按司」	山入端直美、新垣江里子、新垣麻里子他  東江裕吉、金城真次、眞境名正憲、嘉手苺林一、親泊久玄、儀保政彦、呉屋智、石川直也他
18	企画公演	11月1日	昼	アジア・太平洋地域の芸能	<b>アジア・太平洋地域の芸能「ジャワの宮廷ガムランと舞踊」</b> 第一部 始曲、紹介、女性舞踊  第二部 瞑想、影絵、男性舞踊、終曲	サプトブドヨ、スロカルト王家舞踊家たち
19	普及公演	11月9日 11月10日 11月11日  11月12日  11月13日	昼 昼 朝 昼 朝 昼	組踊	<b>組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋</b> 第一部 組踊版「シンデレラ」  第二部 組踊「花売の縁」抜粋	玉城匠、上原美希子、川満香多、知花小百合、岸本隼人、嘉数幸雅 石川直也、田口博章、山入端實他
20	企画公演	11月21日	夜	本土の芸能	<b>「国立劇場寄席」</b> 寄席囃子の実演解説、落語、紙切り、太神楽曲芸	金山はる、柳亭市馬、柳家三三、三遊亭歌奴、鏡味仙三郎社中、林家正楽、柳家緑太
21	定期公演	12月5日	昼	琉球舞踊	<b>創作舞踊の会</b> 「若衆笠踊」「御代治口説」「首里節」「今年世」「鳩間の主」「ていだ花咲いわたり(佳作)」「若水(佳作)」「シンタゲリ遊び」「みやらび」「清ら思い(奨励賞)」「わたんじゃー舟」	知念千代美、山城亮子、具志幸大、安座間明美、川満香多、比嘉いずみ、眞境名あき、松田幸乃、仲嶺麗子、仲嶺絵里奈、新崎恵子、呉屋かなめ、比嘉一恵、嶺井清美、石川直也、佐辺良和、大湾三瑠、阿嘉修、宇座仁一、宮城茂雄、平田智之、新垣悟他

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
22	定期公演	12月13日	昼	民俗芸能 <b>沖縄本島民俗芸能祭「～沖縄本島村遊び～」</b>  解説 第一部 村々に伝わる獅子舞と舞踊「獅子加那志・御願と獅子ケーイ」「谷茶前」他 第二部 村々に伝わる組踊「西南敵討」	久万田晋 西原町我謝区、名護市仲尾次区、西原町幸地区、名護市宮里区
23	定期公演	12月19日	昼	組踊 <b>組踊「忠臣義勇」</b>  第一部 琉球舞踊「かせけ」「前の浜」「諸屯」「高平良万歳」  第二部 組踊「忠臣義勇」	比嘉加奈子、名嘉正光、真境名英美、花岡貴子、普久原郁美他  親泊久玄、宇座仁一、島袋光尋、新垣悟、東江裕吉、真境名律弘他
24	定期公演	1月9日 1月10日	昼 昼	琉球舞踊 <b>「新春琉舞名人選」</b> 古典音楽斉唱・舞踊「かぎやで風節」「女こてい節」「よらてく節」「花風」「作田」「前の浜」「諸屯」「高平良万歳」「汀間当」「本貫花」「護身の舞」「瓦屋」「加那ヨー」「稲まつん」「浜千鳥」「みやらび」	濱元盛爾、宮里敏則、照喜名進、上地正隆、安富祖忠章、糸数一雄、渡名喜康広、幸喜信明、松本紀、上原司、山田和子、仲間頼子、當間公子、波平エミ子、仲田治巳、川平賀道、比嘉聰他  山田多津子、島袋君子、金城千壽子、古謝弘子、嘉数紀美子、玉城千枝、玉城静江、真境名結子、山城洋子、漢那七子、宜保雅子、池原勝子、宮城能造、金城道枝他
25	企画公演	1月23日	昼	組踊 <b>新作組踊「初桜」</b>	東江裕吉、宮城茂雄、宇座仁一、佐辺良和、川満香多、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘、森山康人、森山和人他
26	企画公演	2月6日 7日	昼 昼	狂言 <b>「狂言」</b> 6日 解説 「鬼瓦」「蝸牛」「業平餅」  7日 解説 「舟渡聲」「棒縛」「茸」	6日解説 野村萬斎 7日解説 高野和憲  野村万作、野村萬斎、石田幸雄、月崎晴夫、高野和憲、深田博治、竹山悠樹、飯田豪、岡聡史、内藤連、中村修一

期 日 等				公演名・演目	出 演 者
27	定期公演	2月13日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会「初春の舞」 第一部 「幸福の舞」「仲里節」他 第二部 「春の光」「木綿花」他	末吉ヤスエ、恩河純子、西島ゆかり、上原智子、佐渡山也子、古波津京己、島袋秀乃、具志なおみ、大城美由紀、松原和美、恩納桃枝、大城幸代、金城法恵、知念亜希、大城直江、長山真由美、水野桃子、山城一奈、水野楓子、玉城久美、與那國恵、吉元貴子 他
28	定期公演	2月27日	昼	組踊 「花売の縁」 第一部 琉球舞踊「若衆こてい節」「柳」他 第二部 組踊「花売の縁」	城間菜月、新垣舞愛、金城光子他 平田智之、大湾三瑠、赤嶺正一、島袋由妃、玉城匠、宮城あこ他
29	定期公演	3月11日 3月12日 3月13日	昼 昼 昼	沖縄芝居 歌劇「渡地物語」・歌劇「貞女と孝子」 第一部 歌劇「貞女と孝子」 第二部 歌劇「渡地物語」	春洋一、真栄田文子、当銘由亮、玉城敦子、宮里良子、座喜味米子、糸数きよし、高宮城実人、泉賀寿子、仲嶺眞永、伊良波冨子、平良進、嘉数好子、津波盛廣、赤嶺啓子、瀬名波孝子他
30	定期公演	3月19日	昼	組踊 組踊「探義伝敵討」 第一部 琉球舞踊「四季口説」「本嘉手久」「ぜい」他 第二部 組踊「探義伝敵討」	新城裕子、比嘉悠子、宮城愛、真境名由佳子、金城陽一他 玉城盛義、石川直也、島袋光晴、親泊久玄、天願雄一、宮城茂雄、阿嘉修、平田智之、玉城匠、宇座仁一他

自主公演入場率

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目標 入場者数	目標 入場率
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d)/(c)
1	4月 11日	はじめての琉球舞踊	昼	249席	225人	90.4%	249席	187人	75.1%
2	25日	二童敵討	昼	563席	265人	47.1%	565席	339人	60.0%
3	5月 16日	雑踊名作選	昼	623席	548人	88.0%	619席	371人	59.9%
4	23日	手水の縁	昼	567席	328人	57.8%	565席	339人	60.0%
5	31日	太鼓の競演	昼	563席	338人	60.0%	565席	339人	60.0%
6	6月 13日	社会人のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」	昼	578席	430人	74.4%	565席	424人	75.0%
7	20日	沖縄芝居「いのちの簪」	昼	621席	258人	41.5%	619席	402人	64.9%
8	21日	沖縄芝居「いのちの簪」	昼	632席	269人	42.6%	619席	402人	64.9%
9	28日	与論十五夜踊りと沖縄芸能	昼	568席	268人	47.2%	512席	307人	60.0%
10	7月 11日	男性舞踊家の会	昼	623席	553人	88.8%	619席	464人	75.0%
11	18日	孝行の巻	昼	567席	485人	85.5%	565席	339人	60.0%

	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
12	8月 2日	親子のための組踊鑑賞教室「女物狂」	昼	578席	373人	64.5%	565席	424人	75.0%
13	15日	怪談劇「十貫瀬の七つ墓」	昼	568席	336人	59.2%	566席	368人	65.0%
14	16日	怪談劇「十貫瀬の七つ墓」	昼	579席	348人	60.1%	566席	368人	65.0%
15	9月 12日	琉球舞踊特選会	昼	623席	538人	86.4%	619席	464人	75.0%
16	17日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	564席	421人	74.6%	579席	434人	75.0%
17	18日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	436人	75.3%	579席	434人	75.0%
18	19日	沖縄芝居鑑賞教室	昼	579席	490人	84.6%	566席	425人	75.1%
19	10月 3日	三線音楽	昼	619席	553人	89.3%	623席	374人	60.0%
20	17日	ゆらていく遊ば	昼	566席	502人	88.7%	566席	396人	70.0%
21	24日	久志の若按司	昼	565席	360人	63.7%	565席	339人	60.0%
22	11月 1日	アジア太平洋地域の芸能 「ジャワの宮廷ガムランと舞踊」	昼	621席	373人	60.1%	619席	402人	64.9%
23	9日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	昼	569席	429人	75.4%	578席	434人	75.1%
24	10日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	昼	578席	473人	81.8%	578席	434人	75.1%
25	11日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	朝	578席	476人	82.4%	578席	434人	75.1%
26	11日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	昼	578席	466人	80.6%	578席	433人	74.9%
27	12日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	朝	578席	463人	80.1%	578席	434人	75.1%
28	12日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	昼	578席	518人	89.6%	578席	433人	74.9%
29	13日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	朝	578席	467人	80.8%	572席	429人	75.0%
30	13日	組踊鑑賞教室「花売の縁」抜粋	昼	578席	453人	78.4%	571席	428人	75.0%
31	21日	国立劇場寄席	夜	623席	552人	88.6%	619席	433人	70.0%
32	12月 5日	創作舞踊の会	昼	623席	357人	57.3%	619席	402人	64.9%
33	13日	沖縄本島民俗芸能祭	昼	621席	284人	45.7%	566席	453人	80.0%
34	19日	忠臣義勇	昼	567席	333人	58.7%	565席	339人	60.0%
35	1月 9日	新春琉舞名人選	昼	623席	418人	67.1%	619席	402人	64.9%
36	10日	新春琉舞名人選	昼	623席	401人	64.4%	619席	402人	64.9%
37	23日	新作組踊「初桜」	昼	621席	492人	79.2%	619席	371人	59.9%
38	2月 6日	狂言	昼	621席	580人	93.4%	619席	495人	80.0%
39	7日	狂言	昼	621席	575人	92.6%	619席	495人	80.0%
40	13日	琉球舞踊鑑賞会	昼	623席	478人	76.7%	619席	371人	59.9%
41	27日	花売の縁	昼	565席	372人	65.8%	565席	339人	60.0%
42	3月 11日	歌劇「渡地物語」・「貞女と孝子」	昼	568席	212人	37.3%	579席	376人	64.9%
43	12日	歌劇「渡地物語」・「貞女と孝子」	昼	579席	263人	45.4%	566席	368人	65.0%
44	13日	歌劇「渡地物語」・「貞女と孝子」	昼	579席	375人	64.8%	566席	368人	65.0%
45	19日	探義伝敵討	昼	567席	238人	42.0%	565席	339人	60.0%
合 計				26,234席	18,372人	70.0%	26,010席	17,753人	68.3%

【計画（詳細）：17,753人、達成率103.5%】

(2) 県外公演の開催【年度計画：2回】

県外二カ所(埼玉県川越市、神奈川県茅ヶ崎市)において、組踊当沖縄伝統芸能や嘉数道彦芸術監督作品を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

- ・川越公演：平成27年8月7日(金)～9日(日)／ウェスタ川越／3日間・7ステージ
- ・茅ヶ崎公演：平成28年2月20日／茅ヶ崎市民文化会館／1ステージ

(3) 公演事業委員会の開催

平成28年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を平成27年8月12日、平成28年3月15日に開催した。

(4) 沖縄県文化観光戦略推進事業（沖縄芸能マグネットコンテンツ育成事業）

沖縄県文化観光戦略推進事業を活用し、修学旅行団体向け買取公演として、子の会による「執心鐘入（平成28年1月14日）」を上演した。

(5) 国立劇場おきなわ連携活用事業

沖縄県と国立劇場おきなわの共催により、当劇場の公演を鑑賞する機会が少ない地域（本部町立中央公民館(11/15)、今帰仁村コミュニティセンター(11/23)において県内巡回公演を実施した。

また、30名以上の県内団体を対象に、観劇に要する貸切バス費用を助成する貸切バス費用助成事業（県内団体対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演チラシ等の作成・配布

(ア) 公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。

(イ) チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（360団体）にチラシを配布した。

(ウ) 沖縄コンベンションビューロー（OCVB）賛助会員に加盟し、OCVBの各事務所、那覇空港出張所等に自主公演年間予定リーフレットを設置した。

イ 看板、ポスター等掲出

(ア) 劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

(イ) 沖縄都市モノレールの窓上広告として、年間を通じて施設案内及び公演案内のポスターを掲示した。また、モノレール駅舎掲示板に公演案内ポスターを掲示した。

(ウ) 沖縄都市モノレール（ゆいレール）駅全15駅に設置された路線図等看板に、劇場案内を掲出した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄にて公演告知を行った。 琉球新報の「琉球芸能ガイド」で公演紹介とチケットプレゼントを行った。 沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーで公演紹介とチケットプレゼントを行った。 琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄にて公演告知と、広告欄にて広告掲載（2ヶ月に1回）を行った。
ラジオ	F M沖縄とラジオ沖縄にてラジオCMを行った。
Web	「ぴらつか暦」「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」「ふくおかサポートネット」「Yahoo!ロコ」「古典文化の友」「長尾さんの観光案内所」「ウォーカープラス」「沖縄LIKES」「たびらい沖縄」「ちゅらとく」「じゃらんnet」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「ぴらつか暦」「おきなわ倶楽部」（以上月刊誌）、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」「にぎやか談話室」（以上季刊誌）、「そらくる沖縄」（年1回）

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

新聞	沖縄タイムス、琉球新報、朝日新聞
テレビ	NHK、OTV、QAB、RBC
ラジオ	ラジオ沖縄、RBCiラジオ、FM沖縄、FMレキオ、タイフーンFM、FMよみたんしまことばラジオ、
Web	「文化庁月報」「エンタ魂」「沖縄島ガール」「Japan Update」「Okinawa Living」「RQ+」「うらそえナビ」「古典文化の友」「チラシステージ」「ぶらっとママ倶楽部」「与論町観光協会HP」「じゃらん」
雑誌	「Island Guide」「美ら島沖縄」「おきなわ倶楽部」「沖縄総合事務局局報 群星」「地域創造レター」

エ ポスター等展示による劇場外イベント

(ア) 国立劇場（本館・小劇場）琉球芸能公演

平成28年1月23日、国立劇場（本館・小劇場）で催された民俗芸能公演「村の組踊」において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映を行った。

(イ) 国立劇場おきなわ県外公演

平成27年8月7日～8月9日、埼玉県川越市のウェスタ川越で開催された国立劇場おきなわ県外公演「琉球フェスタin川越」において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映等を行った。

平成28年2月20日、神奈川県茅ヶ崎市の茅ヶ崎市民文化会館で開催された国立劇場おきなわ県外公演『組踊「執心鐘入」と琉球舞踊』において、チラシ、ポスター及びパンフレットの配布、組踊の紹介DVDの放映等を行った。

オ その他

(ア) 公演解説書「華風」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 平成27年度自主公演年間予定表の多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 沖縄の伝統芸能パンフレットのA3サイズ多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

(エ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、HPへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(オ) 2016年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び及び配付を行った。

(カ) 10月企画公演「ゆらていく遊ば」において、カレンダー、劇場グッズの販売を行い、ファン感謝デーと銘打った公演を盛り上げた。

(キ) 1月琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」の新春公演では、2日間で延べ200名に呈茶を実施し、幕間に抽選による観客へのお年玉プレゼント（カレンダー、劇場グッズなどの詰め合わせ）を行い、新春公演の雰囲気盛り上げた。

(ク) 8月沖縄芝居公演「十貫瀬の七つ墓」・11月企画公演 アジア・太平洋地域の芸能「ジャワの宮廷ガムランと舞踊」・3月沖縄芝居公演「渡地物語・貞女と孝子」において、劇場ロビーでパネル展示等を行った。

(7) バックステージツアーについて

地域への還元を図り、劇場への理解を深める機会を設けるため、「劇場バックステージツアー」を平成27年7月24日・26日に計2回実施し、計76名が参加した。

### 3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

(1) 研修の実施（第4期組踊研修：平成26年4月～平成29年3月）【計画(詳細)：10名】

組踊（立方・地方）：第4期（10名）の2年目の研修を実施。

立方5名及び地方5名（歌三線4名、笛1名）

(2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢17名）

(3) 養成状況

ア 主な授業 組踊実技（立方、三線、笛）、副実技（琉球舞踊、箏、胡弓、太鼓）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球芸能史、琉球古典語基礎、発表会等

イ 授業回数 合計316回

・組踊実技の実施（90分の154回）

・副実技の実施（90分の37回）

・基礎実技の実施（90分の98回）

・講義研修の実施（90分の32回）

・鑑賞・見学研修の実施（90分の9回）

・研修発表会の実施 2回（90分の4回）

・講話・講演会（特別講演）の実施（90分の2回）

ウ 休暇等 夏季休暇 平成27年8月24日～8月31日

冬季休暇 平成27年12月14日～平成28年1月3日

(4) 研修生発表会の実施

ア 第四期組踊研修生第3回発表会：平成27年10月8日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「銘苺子」、舞踊「作田」、「前の浜」

鑑賞者数：417名

イ 第四期組踊研修生第4回発表会：平成28年3月3日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊「孝行の巻」、舞踊「浜千鳥」、「谷茶前」

鑑賞者数：487名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を平成28年3月14日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

ア 組踊既成者研修第5回発表会：平成27年7月4日、国立劇場おきなわ大劇場

演目：組踊：「花売の縁」、舞踊「若衆こてい風」、「天川」、「ぜい」、斉唱「出砂節」、「湊くり節」、独唱「赤田風節」、「下出し仲風節」

鑑賞者数：277名

#### 4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

##### (1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	75	238	14	327
逐次刊行物	冊	230	748	24	1,002
公演・演出台本	冊	0	32	42	74
上演資料集	冊	0	12	6	18
合 計		305	1,029	93	1,427

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	66	66
録画テープ(VHS)	本	0	16	0	16
録画テープ(DVCAM)	本	3	0	54	57
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	54	54
DVD	枚	4	9	149	162
録音テープ	本	0	1	0	1
レコード・CD	枚	69	7	0	76
ポスター	枚	0	5	64	69
チラシ	冊	0	58	32	90
展示図録	点	0	10	0	10
冊 子	点	0	543	16	559
合 計		76	649	429	1,154

##### (2) 上演資料集

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料・論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。「久志の若按司」、「忠臣義勇」、「探義伝敵討」の3演目を合計710冊刊行し、各関係機関・研究機関へ配付した。

##### (3) 展示

国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示することで沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるために実施した。

期 間	名 称	内 容
平成27年 4月11日(土) ～6月21日(日) 72日	第一回 企画展 「琉球舞踊 雑踊 ～盛重と尹吉～」	琉球舞踊の「雑踊」に焦点をあてて、玉城盛重と伊良波尹吉を中心に、人物像と作舞した演目の解説、衣裳や小道具などを展示。また、戦後70年に関連づけて、戦後復興期の沖縄芸能に関する特設コーナーを設けた。
平成27年 7月11日(土) ～9月20日(日) 72日	第二回 企画展 「沖縄芝居入門」	沖縄芝居に関する衣裳、背景幕や小道具などを展示。また、戦後70年に関連づけて、戦時中に検閲を受けた芝居台本を展示。

期 間	名 称	内 容
平成27年 10月3日(土) ～12月13日(日) 72日	第三回 企画展 「組踊 敵討」	組踊の「敵討もの」をとりあげ、共通するポイントや登場人物などを紹介。また、本土芸能との関連を解説し、地域に伝わる演目など写真や衣裳などの資料を展示。
平成28年 1月9日(土) ～3月13日(日) 65日	第四回 企画展 「狂言入門」	平成28年2月6日・7日「狂言」公演との関連企画として、狂言への関心と理解を深めてもらうために開催。登場人物の身分や役を象徴する装束や面について展示解説。また、組踊「花売の縁」と狂言「靱猿」、きょうちゃこと鬘桶など組踊との関わりも紹介。

4回の企画展示の入場者数合計(カウント数):12,318人(281日間)  
【計画(詳細):目標来場者数12,000人(達成率103%)、計画日数281日】

#### (4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演30公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演(3回)の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計552人。【計画(詳細):4回、600人(達成率92%)】

#### (5) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

##### ア 活用実績

レファレンスルーム利用者1,735人(うち一般607人)

映像・音声視聴1,250件(945時間)、映像・音声複製32件(34時間)

公開資料:平成16年度～27年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

##### イ その他

国立劇場おきなわでは、レファレンスルームにおいて、「ジャワの宮廷ガムランと舞踊」(11/1)「狂言」(2/6～7)の各公演に合わせた関連図書資料を紹介するコーナーを設置した。

#### (6) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、沖縄県と共催した「国立劇場おきなわ連携活用事業」による組踊と琉球舞踊の県内巡回公演(本部町中央公民館(11/15)、今帰仁コミュニティセンター(11/23))に合わせて、各施設ロビーで組踊の紹介を中心とした展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

平成27年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	6	7	
演劇	2	2	
舞踊	19	32	
古典音楽	3	5	
民謡	1	1	
民俗芸能	4	6	
その他	9	12	講演会等
計(1)	44	65	利用可能日数109日
目標日数		69	
達成率		94%	

※平成26年度の実績と比較すると、件数で2件の減、使用日数で2日の減。

イ 小劇場

ジャンル	件数	使用日数	備考
組踊	10	12	
演劇	15	21	
舞踊	35	57	
古典音楽	8	13	
民謡	2	3	
民俗芸能	4	6	
その他	25	26	講演会、研修会
計(2)	99	138	利用可能日数182日
目標日数		119	
達成率		116%	

※平成26年度の実績と比較すると、件数で10件の増、使用日数で11日の増。

ウ 大劇場+小劇場

合計 (1)+(2)	件数	使用日数	達成率	※平成27年度計画における 目標使用日数：188日
	143	203	110%	

※平成26年度の実績と比較すると、件数で8件の増、使用日数で9日の減。

エ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	152件	620.0時間
中稽古室	332件	1,016.0時間
第1小稽古室	174件	568.0時間
第2小稽古室	317件	979.0時間
第3小稽古室	370件	881.0時間
第5小稽古室	321件	829.5時間
第6小稽古室	443件	1,168.0時間
交流プラザ	83件	199.0時間
養成研修室	114件	299.0時間
会議室	5件	32.5時間
合計	2,311件	6,592.0時間

※平成26年度の実績と比較すると、件数で231件の減、使用時間で1,545時間の減。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

- ア 施設利用の情報をホームページに掲載し、また、貸劇場の空き日状況を掲載した。
- イ 劇場利用のご利用案内を校正・増刷し、貸劇場の広報宣伝を行った。
- ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。
- エ 平成28年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。
- オ 稽古室のご利用案内を増刷し、館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

## 6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

- ア 警備業務
- イ 清掃業務
- ウ 施設運転監視業務
- エ 舞台技術常駐業務
- オ 劇場案内等業務

(2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務
- イ 電気・機械設備保守点検業務
- ウ 舞台機構保守業務
- エ 音響設備定期保守業務
- オ 照明設備定期保守業務
- カ 映像収録設備定期保守業務

## 7 前述の業務に附帯する業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加を図った。

(単位：人)

会 員 数 推 移													
年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952	1,992

平成28年3月末現在会員数：1,992人【年度計画：2,200人、達成率91%】

- ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。
- イ 会員対象催事の実施：自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、次のとおり会員対象のイベントを開催した。
  - (ア) 「半日バスツアー及び公演鑑賞会」：平成27年12月19日、参加人数40名。バスにて末吉公園、森川公園、屋良ムルチ、若松公園等を巡り、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）が組踊（朝薫の五番）の解説を行った。その後、劇場において、組踊公演「忠臣義勇」の鑑賞を行った。
  - (イ) 「新春講演会」：平成28年2月27日、参加人数89名。小劇場において、宮城能鳳先生（国指定重要無形文化財「組踊立方」保持者（各個認定））を講師に迎え、嘉数道彦（当劇場芸術監督兼企画制作課長）を聞き手に、宮城能鳳先生のこれまで歩まれてきた芸の道に関して講演会を実施した。

(2) 寄付金の実績

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

(単位：千円)

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	金額	1,550	0	330	1,880
収入	件数	17件	0件	20件	37件

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場募金を募った。

(単位：千円)

		職場
募金収入	金額	635
	件数	144件

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

沖縄県文化観光戦略推進事業を活用し、観光客を誘客するための仕組の構築、効果的な宣伝方法の検証等を目的に、次の取組を実施した。

ア 貸切バス費用助成事業（県外及び離島団体対象）

10名以上の県外及び離島団体を対象に、観劇に要する貸切バス費用を助成することで、自主公演の鑑賞促進を図った。

イ プロモーション事業

(ア) ツーリズムEXP0ジャパン2015（平成27年9月25日-28日、東京ビッグサイト）

劇場専用ブースにて芸能関連資料、三線や花笠等の楽器・小道具類の展示を行った。また、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。

(来場者数173,602人、パンフレット類2,800部配布、アンケート200名)

(イ) ふるさと祭り東京2016（平成28年1月12日-15日、東京ドーム）

劇場専用ブースにて芸能関連資料、三線や花笠等の楽器・小道具類の展示を行った。また、舞踊家・演奏家によるステージパフォーマンス、来場者との交流を行った。

(出展期間中来場者数159,944人、パンフレット類1,500部配布、アンケート200名)

ウ 組踊ワークショップ事業

自主公演（組踊関連公演）の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを開催し、旅行者と連携し組踊鑑賞ツアーを造成することで、県外観光客等の誘客を図った。

## エ 県外組踊ファンミーティング事業

県外において、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップ及び実演家との交流会を含むファンミーティングを開催することで、県外における組踊の普及啓発、県外公演や組踊鑑賞ツアーへの誘客を図った。

## オ 宣伝広告費関係

### (ア) プロモーション映像及びフォト記事の作成・配信

沖縄観光情報WEBサイト「沖縄CLIP」とのコラボで「組踊」「琉球舞踊」「民俗芸能」の概要を紹介する短編ムービー（2分30秒位）を作成し、同サイト上での配信を行った。また、フォトライターによる「組踊」「琉球舞踊」「沖縄芝居」「三線音楽」「民俗芸能」の紹介記事を作成し、同サイト上で掲載を行った。（映像・記事とも沖縄CLIPのホームページ、Facebookで配信・掲載）

沖縄CLIP <http://okinawaclip.com/ja>

### (イ) パンフレットなどの販促物の作成

#### ① 多言語パンフレット

沖縄伝統芸能の魅力を紹介する多言語表示（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語）のパンフレットを作成し、外国人来館者や県外での公演、観光関連イベントなどで配布した。

#### ② クリアファイル

組踊を題材にした簡易手提げ袋兼クリアファイル（A4版、5,000部）を作成し、観光関連イベントなどで配布した。

#### ③ 一筆箋

組踊を題材にした一筆箋（185mm×80mm、30頁、2,000部）を作成し、観光関連イベントなどで配布した。

### (4) 劇場ホームページの充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 平成27年度アクセス件数 305,370件（1日平均836件）【年間計画：273,568件、達成率111%】

イ メールマガジン（月1回発行）登録件数492件。（平成28年3月末時点）

ウ 公式Facebookページを平成26年11月に開設。「いいね！」件数1005件。（平成28年3月末時点）